

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	温泉エネルギー活用加速化事業	担当部局	地球環境局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年	担当課室	地球温暖化対策課 自然環境整備担当参事官室	地球温暖化対策課調整官 和田 篤也 自然環境整備担当参事官 大庭 一夫				
会計区分	エネルギー特別会計 (エネルギー需給勘定)	施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ 特別会計に関する法律施行令第50条第7項第8号	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	温泉の熱や温泉の採取に伴い発生するガス(温泉付随ガス)を活用した温泉化対策は、二酸化炭素削減量が大きく、非常に有効な手段であるが、事業者の中には初期投資費用の調達が困難な場合も多く、また、こうした対策が十分認知されていない状況にある。 このため、温泉発電、温泉熱・温泉付随ガス利用事業の初期コストの低減による自立的普及及び地域特性に応じた再生可能エネルギー利用の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	温室効果ガスの排出削減のため、温泉施設において民間事業者が行う以下の事業に要する費用について補助金を交付するものである。 ①温泉発電設備(FITによる全量売電をしないものに限る)の設置(補助率1/2)(H23年~) ②ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業(補助率1/3) ③温泉付随ガスの熱利用事業(補助率1/2) ④温泉付随ガスのコジェネレーション事業(補助率1/2)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状況	当初予算	-	-	50	450	450	
		補正予算	-	184	-			
		繰越し等	-	▲ 37	22	15		
		計	-	147	72	465	450	
	執行額	-	122	30				
執行率(%)	-	82.99%	41.67%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	温泉発電、温泉熱・温泉付随ガス利用事業の実施による二酸化炭素排出削減量		成果実績	t-CO2	-	-	1,663	3,500
			達成度	%			93 (目標値1,782t-CO2)	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業実施件数		活動実績 (当初見込み)	件		11	3	-
					(4)	(16)		
単位当たり コスト	4,884(円/t-CO2)		算出根拠	事業執行額(平成21年度 121,833,000円)÷二酸化炭素削減量(平成22年度 1,663CO2-t)÷平均耐用年数(15年)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	二酸化炭素排出抑制対策事業 費等補助金	450	450	-				
	計	450	450					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度から22年度に繰り越した事業が、事業者の都合により事業を取りやめたため、22年度における不用額が大きくなった。このため、事業者の都合により事業を取りやめることがないよう、22年度からは事業の採択の審査にあたり資金調達を証明する資料を添付させる等改善を行った。これにより、22年度から23年度においては事業者の都合により事業を取りやめた事例は無かった。また、22年度から23年度においては、東日本大震災の影響により事業を繰り越した事業があり、執行額が少なくなった。</p> <p>事業実施者からの実績報告等においても、確実に温泉施設から排出されるCO2が削減されているが、事業の更なる普及を図るため温泉利用事業者及び関係団体等に対してこれまでの導入実績に基づく事業の有効性等の更なる周知を進めていく予定。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業仕分けの結果を踏まえ、引き続き効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>【事業仕分け第3弾】 事業番号:A-12 WGの評価結果:対象を全国の先進的なモデルとなる地域に厳しく限定 予算要求の圧縮(半減を目的に) とりまとめコメント:全国の先進的なモデルになるような事業・地域を対象を厳しく限定したうえで、半減を目的に大幅に予算圧縮を図る。</p> <p>【対応】 予算要求額を850百万円→450百万円に縮減。</p>			

※平成22年度実績を記入

環境省
30百万円

事業の募集、審査、内示、交付決定



【補助】

A. 民間事業者（3事業者）
30.4百万円

事業の公募書類及び交付申請書の提出、事業実施、実績報告書の提出

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.(有)湯沼温泉			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設計費	A株式会社 基本設計費	0			
設備費	B株式会社 ヒートポンプ導入器機	3.7			
工事費	C株式会社 熱源改修工事	5.9			
工事費	D株式会社 電気設備工事	0.8			
計		10.4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)湯沼温泉	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業	10.4	-	-
2	(有)藤屋幸次郎商店	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業	10	-	-
3	箱根大平台温泉組合	ヒートポンプによる温泉熱の熱利用事業	10	-	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					